

袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

【 更生園 】

1 改善状況で評価できる点

- (1) 利用者の人権の権利擁護、虐待防止の取組
 - ・グループディスカッションにおける議題は、支援員の意見をできるだけ吸い上げることができるよう、毎回、内容に工夫がなされている。
 - ・研修の終了後には、その研修から学べたことや今後研修を通じて更に学びたいことなどを問うアンケートが実施されており、回答の中には、今後の研修の充実につながる意見が数多く出ている。
 - ・県内の他の施設を見学する機会を設け、その良い点を吸収して通常の支援に活かす取り組みがなされている。
- (2) 強度行動障害のある利用者への支援ノウハウの活用
 - ・更生園の職員が講師となって、他の施設の職員に対して研修を実施するなど、更生園における支援のノウハウを他の施設に提供する試みがなされている。
 - ・外部での研修の中でも特に支援に有用なものについては、当該研修を受講した支援員が他の支援員に研修内容を伝達するなどし、有益な情報の拡散に努めている。
- (3) 家族等との関係
 - ・保護者会を定期的かつ頻繁に開催したり、広報誌を発行したりする方法により、保護者に対し更生園の現状について、保護者に対する情報提供を積極的に行っている。その結果、保護者からも、昨年とは雰囲気がいだいぶ変わったとの声が聞かれている。
- (4) 確認調査における改善を要する事項
 - ・支援に際し、特に重要で、支援員間で共通して理解をしておかなければならない事項については、口頭だけではなく書面でも伝達がなされている。利用者に対して統一した支援を行うために、情報共有を徹底する努力がなされていることがうかがえた。
 - ・人員配置上、利用者に対応可能な支援員が少なくなる場面においては、班を超えて協力する体制が採られている。

2 今後も継続的に改善を必要とする点

- ・研修やグループディスカッションについては、その内容・実施方法・実施頻度について、支援に資するものとなるよう、引き続き検討を行うこと。

3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・一部の職場において職員間のコミュニケーションが円滑に図られておらず、職員がストレスを感じている様子が見えられた。既に幹部において対策が講じられているとのことであるが、引き続き適切な対応に努めること。